

コアシンポジウム 2

「機能的消化管疾患～最新の診断と治療～【直面する課題とその克服に向けて】」

主司会 二神 生爾（日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科）

副司会 田中 史生（大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学）

機能的消化管疾患の病態は多くの因子が関与しており、消化管運動障害、粘膜微細炎症や透過性亢進、内臓知覚過敏、腸内細菌などが挙げられる。病態に基づく治療が行われているが、いまだ治療抵抗性の症例も多く、さらなる病態の解明や治療法の開発が望まれている。また GERD、機能的ディスペプシア、過敏性腸症候群、慢性便秘症などの代表的な疾患については、診療ガイドラインの改訂がなされている途上であり、直面する課題の整理とその克服に向けて取り組みが行われている。本セッションでは食道から直腸肛門機能まで消化管全域での機能的消化管疾患について幅広く演題を募集し、基礎・臨床の両側面からの多面的な議論がなされることを期待する。